



第5次戸田市教育振興計画

※計画期間：
令和8年度～令和12年度



これからの
社会の展望と
教育の方向性

教育理念

教育理念
について

グローバル化、情報化に加え、生成AI等の技術革新が社会を大きく変革し、予測困難な速さと広がり「Society 5.0(*1)」の時代への移行が進みつつあります。環境問題の深刻化や価値観の多様化といった新たな課題も複合的に現れ、社会全体の構造転換が求められています。まさに、変化が激しく、不確実で複雑かつ曖昧な「VUCA(*2)」の時代に私たちは生きています。このような時代において、「自らの人生を舵取りすることができる、民主的で持続可能な社会の創り手」を育成することが、教育に求められています。

好きを育み 得意を伸ばす とだの教育

本市は、『教育のまち とだ』として、一人一人の「好き(興味・関心)を育み、得意を伸ばす」ことを教育の起点とし、未知なる教育改革に挑むことで、「自らの人生を舵取りすることができる、民主的で持続可能な社会の創り手」を育成することを目指します。そのためには、誰一人取り残されることなく、誰もが互いの多様性を尊重し、いきいきと共に高め合う学びを実現するとともに、子供も大人も、家庭や地域で学び、活動し、支え合うまちを築いていくことが重要です。さらに、計画の推進に当たっては、施策全体を支える様々な基盤の整備・充実を図り、各施策の実効性を高めることも欠かせません。このような基本的な考え方の下、本計画では方針や主な施策を定め、こどもまんなか社会の実現も見据えて先進的な取組を推進します。

方針1

学校教育において、未知なる教育改革に挑み、「自らの人生を舵取りすることができる、民主的で持続可能な社会の創り手」を育成する学びの実現を目指します。

そのために、「これからの社会で求められる資質・能力を育成する学びの推進」「令和の日本型学校教育(*3)」を支える学校の働き方改革の加速と、教師の指導力の向上」「持続可能で快適な学習環境と、切れ目のない成長を支える体制の整備」「子供の健やかな成長の支援」といった主な施策に取り組めます。

主な施策(◎) 具体的な取組(・)

◎これからの社会で求められる資質・能力を育成する学びを推進します。

- ・各教科等の本質にせまる「主体的・対話的で深い学び」とカリキュラム・マネジメント(*4)の推進
- ・「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実(*5)」の推進
- ・世界で活躍できる人間の育成に向けた英語教育の充実及び短期留学プログラムの推進
- ・戸田型PBL(*6)の深化やSTEAM教育(*7)の視点による授業改善を含めた、質の高い探究的な学びの推進
- ・デジタルシティズンシップ(*8)の視点を含めた、情報活用能力(*9)の向上
- ・豊かな人間性や社会性を育むための体験的・実践的な学びの推進

◎「令和の日本型学校教育」を支える学校の働き方改革の加速と、教師の指導力の向上を図ります。

- ・学校の指導運営体制の充実と学校・地域が一体となって取り組む働き方改革の加速化
- ・各教科等の本質にせまる研修及び産官学と連携し最新の知見を取り入れた研修等の充実
- ・ICTやテクノロジーを活用した指導力の向上
- ・教職員による不祥事の根絶に向けた取組の推進

◎持続可能で快適な学習環境と、切れ目のない成長を支える体制を整備します。

- ・安心・安全と新たな学びに対応した施設・設備の充実
- ・幼児教育と小学校教育の円滑な接続を図る体制の構築と「幼保小架け橋プログラム(*10)」の促進
- ・小中一貫教育の推進

◎子供の健やかな成長を支援します。

- ・小・中学生の給食費無償化の実施
- ・食育の推進

方針2

あらゆる学びにおいて、誰一人取り残されることなく、誰もが互いの多様性を尊重し、いきいきと共に高め合う学びの実現を目指します。

そのために、「多様なニーズに応じた学びの推進」「多様な支援体制の充実」といった主な施策に取り組めます。

主な施策(◎) 具体的な取組(・)

◎多様なニーズに応じた学びを推進します。

- ・戸田型インクルーシブ教育モデル(*11)の推進
- ・戸田型オルタナティブ・プラン(*12)の推進
- ・こども等が意見を表明する機会の確保と意見の反映
- ・市民ニーズや社会の要請に合わせた学習機会の提供
- ・いじめ防止対策の推進
- ・特別支援教育の充実
- ・放課後の学習支援や日本語指導の推進
- ・国内外の姉妹・友好都市との交流の促進

◎多様な支援体制の充実を図ります。

- ・教育相談体制の充実及び活用促進
- ・学校における医療的ケア(*13)の充実
- ・就学相談体制の充実及び活用促進
- ・子供の健全育成を支援するための福祉機関等との連携強化

方針3

子供も大人も、家庭や地域で学び、活動し、支え合うまちを築くことを目指します。

そのために、「スポーツや文化芸術活動を含めた生涯にわたる学びの推進と活用機会の拡充」「地域・校連携による子供の学びと活動の支援」といった主な施策に取り組めます。

主な施策(◎) 具体的な取組(・)

◎スポーツや文化芸術活動を含めた生涯にわたる学びの推進と活用機会の拡充を図ります。

- ・生涯学習活動の推進
- ・図書館、郷土博物館の充実と利用活用の促進
- ・スポーツや文化芸術活動の推進
- ・家庭教育の支援

◎地域・学校連携により、学びと活動を支援します。

- ・コミュニティ・スクール(*14)等の地域・学校連携によるつながりの促進
- ・部活動の地域展開(*15)
- ・ゆるやかなつながりと学びを大切にしたこどもの居場所の充実

方針4

施策全体を支える様々な基盤の整備・充実を図り、各施策の実効性を高めることを目指します。

そのために、「産官学民の多様な知見を生かした学びの推進」「科学的根拠に基づいた施策の展開」「教育デジタルトランスフォーメーション（教育DX）（*16）の推進」といった主な施策に取り組みます。

主な施策（◎） 具体的な取組（・）

◎産官学民の多様な知見を生かした学びを推進します。

- ・企業やNPO、専門家などの多様な主体との連携体制の充実

◎科学的根拠に基づいた施策の展開を図ります。

- ・戸田市教育政策シンクタンク（*17）をはじめとしたEBPM（*18）推進体制の整備
- ・モニタリング指標等に基づく計画の継続的な状況把握
- ・教育活動や政策の効果等に関する研究の推進と研究成果の公表

◎教育デジタルトランスフォーメーション（教育DX）を推進します。

- ・ICTやデジタル機器をはじめとした学習環境の整備
- ・教育総合データベース（*19）の整備と教育データの利活用の推進
- ・個人情報の保護やコンプライアンス（法令遵守）の徹底

モニタリング指標

本計画をEBPMの核となるものと位置づけ、データに基づいて実態をとらえ施策を見直していくための手立てとなるような指標として、以下の指標を設定しています。

■主に方針1に関係するもの

- ・探究心を持っている児童生徒の割合
- ・将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合
- ・社会貢献意欲が育まれている児童生徒の割合
- ・全国学力・学習状況調査における平均正答率
- ・埼玉県学力・学習状況調査において学力を伸ばした児童生徒の割合
- ・中学校卒業時の英検3級以上取得率
- ・教職員の在校等時間の状況
- ・授業支援システムの活用ログ
- ・戸田市公共施設アクションプランのうち小中学校の工事の年次達成割合

■主に方針2に関係するもの

- ・戸田型インクルーシブ教育モデルの実施状況
- ・他者との協働意識が育まれている児童生徒の割合
- ・特別支援学級・通級指導教室に通う児童生徒の人数
- ・不登校児童生徒の割合
- ・次世代応援ポータルサイトの閲覧数
- ・こども版パブリック・コメントの意見数
- ・国内外の姉妹・友好都市との交流件数
- ・障害福祉に係る相談窓口の相談件数
- ・障害児相談支援利用者数
- ・1歳8か月児健診、3歳6か月児健診の平均受診率
- ・子育て支援センター利用者数
- ・こども家庭相談センターにおける相談件数

■主に方針3に関係するもの

- ・生涯学習活動を行っている市民の割合
- ・市民大学受講者数
- ・公民館講座受講者数
- ・週1回以上スポーツを実施している市民の割合
- ・文化祭・音楽祭・美術展覧会の出品者数・参加者数及び鑑賞者数
- ・図書館来館者数
- ・郷土博物館来館者数（常設展示）
- ・地域クラブに所属している生徒の割合
- ・市内のこどもの居場所の数

■主に方針4に関係するもの

- ・外部研究機関との共同研究の実施状況
- ・平時の授業における1人1台端末の利活用状況
- ・教育総合データベースの活用状況

【参考1】本計画の位置づけ

本計画は教育基本法第17条の規定に基づいて策定する、戸田市における教育振興のための施策に関する基本的な計画です。本市の教育理念や方針等の大きな方向性を本計画で示し、個別施策の詳細については市ホームページ等に掲載することとしています。戸田市内の小中学校に通う児童生徒からの意見発表、関係団体へのアンケート、策定委員会での議論及びパブリック・コメントを経て、最終的に令和8年3月の定例教育委員会で議決され、本計画が策定されました。

【参考2】用語解説

- （*1） **Society 5.0**…サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会のこと。狩猟社会（Society 1.0）、農耕社会（Society 2.0）、工業社会（Society 3.0）、情報社会（Society 4.0）に続く新たな社会（超スマート社会）として、第5期科学技術基本計画において提唱された。
- （*2） **VUCA**…Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の略称であり、先行きが不透明で将来の予測が困難な状態のこと。
- （*3） **令和の日本型学校教育**…子供たちの知・徳・体を一体で育む「日本型学校教育」の良さを受け継ぎながら、全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現を目指した新しい時代の学校教育のこと。
- （*4） **カリキュラム・マネジメント**…学校の教育課程を中心に、児童生徒や地域の実態に基づき、組織的かつ計画的に教育内容の編成、実施、評価、改善を行い、教育活動の質の向上を図ること。
- （*5） **個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実**…子供たち一人一人の学習状況や個性に応じた学びと、多様な他者と共に学びを深める学びを一体的に行うことを通して、子供たちの資質・能力をよりよく育成していくこと。
- （*6） **戸田型PBL**…PBLとは、Project-Based Learning（プロジェクト型学習）の略称であり、プロジェクト（課題解決活動）を通して、これからの社会で求められる資質・能力を育成する学習のこと。戸田型PBLとは、学習指導要領の趣旨に沿って、本市が独自に定義や要件を整理した戸田市版のPBLのことを指す。
- （*7） **STEAM教育**…STEAMとは、Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Art/Arts（芸術/文化・生活・経済・法律・政治・倫理等）、Mathematics（数学）の略称。STEAM教育とは、STEAMの各分野が複雑に関係する現代社会に必要な資質・能力の育成に向け、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な学習のこと。
- （*8） **デジタルシティズンシップ**…情報活用能力の育成に際し、情報及び情報技術の積極的かつ責任ある活用を通して、自他の権利を尊重しながら社会参加する実践的な資質・能力の育成を目指すこと。
- （*9） **情報活用能力**…情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、問題を発見・解決したり自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力のこと。
- （*10） **幼保小架け橋プログラム**…子供に関わる大人が立場を越えて連携し、架け橋期（5歳児から小学校1年生の2年間）の発達の段階を見通し、教育の充実を図るための体系的な取組のこと。
- （*11） **戸田型インクルーシブ教育モデル**…ここでいうインクルーシブ教育とは、「多様性を尊重し、全ての子供が安心して学び、成長できる教育」としており、その実現を図るために本市が独自に推進する教育の枠組みのこと。
- （*12） **戸田型オルタナティブ・プラン**…市が進めている不登校対策支援事業の総称。オルタナティブとは「代替の」「新たな」という意味があり、「子供たちに新たな居場所を」という願いを込めている。
- （*13） **医療的ケア**…病院などの医療機関以外の場所（学校や自宅など）で日常的に継続して行われる、喀痰吸引や経管栄養、気管切開部の衛生管理、導尿、インスリン注射などの医療行為のこと。
- （*14） **コミュニティ・スクール**…保護者や地域住民等が一定の権限と責任をもって学校運営に参加することで、育てたい子供像、目指すべき教育のビジョンを共有し、目標の実現に向けて協働する仕組みのある学校のこと。
- （*15） **部活動の地域展開**…これまで学校主体で行ってきた部活動を、地域クラブ主体へと展開していくスポーツ庁・文化庁の事業。国の計画に沿って、全国の学校で推進が図られている。
- （*16） **教育デジタルトランスフォーメーション（教育DX）**…デジタル技術を活用して、教育の仕組みや学びの形、学校運営などを抜本的に変革し、より質の高い教育の実現を目指す取組のこと。単なるICT機器の導入や業務の効率化にとどまらず、データやAIなどの先端技術を活用することで、子供たち一人一人に最適化された学びの実現、教職員の働き方の改善、教育行政の高度化を図るものとされている。
- （*17） **戸田市教育政策シンクタンク**…シンクタンクとは、様々な領域の専門家を集めた研究機関を指す言葉。本市においては、教育政策の調査、研究、分析等を所掌する戸田市教育政策シンクタンクを教育委員会内に設置している。
- （*18） **EBPM**…Evidence-Based Policy Making（エビデンスに基づく政策立案）の略称であり、目的を明確化したうえで合理的根拠に基づいて政策手段を選択すること。
- （*19） **教育総合データベース**…個人情報の保護を前提として、分散している子供に関するデータについて連携し、横断的なデータの利活用を可能とする本市が独自に構築している基盤のこと。

第5次戸田市教育振興計画

編集発行：戸田市・戸田市教育委員会 発行年月：令和8年4月 〒335-8588 埼玉県戸田市上戸田1丁目18番1号 電話：048-441-1800（代表） FAX：048-443-9033

関連情報は
こちら

